

令和6年度 公共下水道工事の実施場所のお知らせ

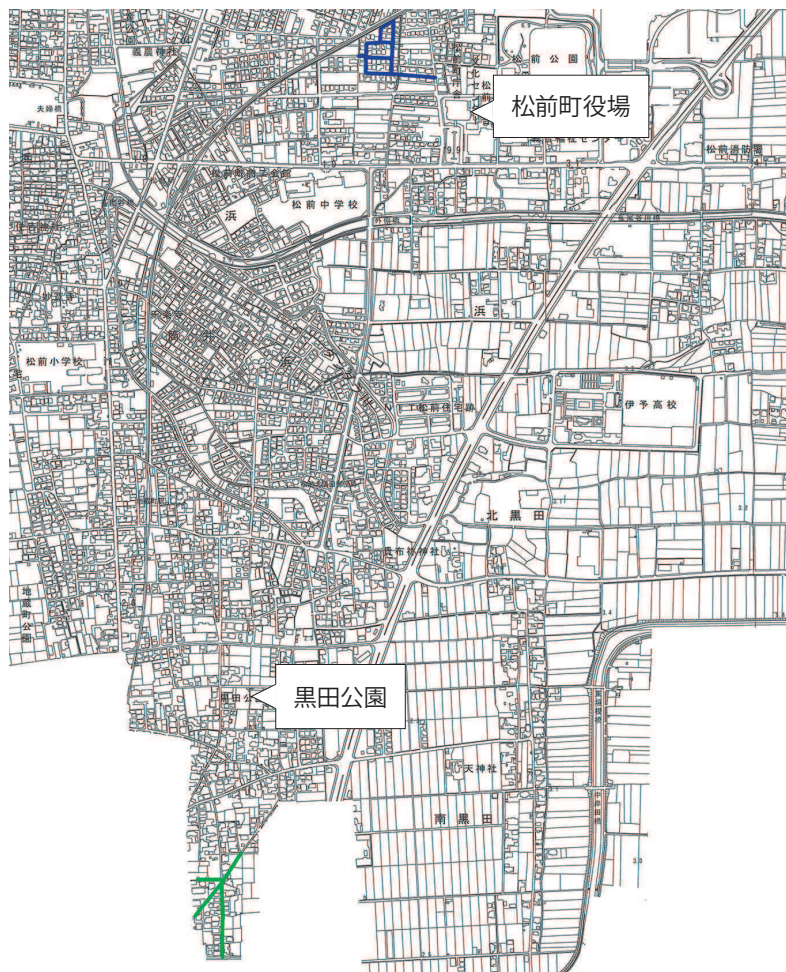
現在、南黒田、筒井地区で公共下水道管渠工事を進めています。

本年度は、左図の場所の下水道管渠工事（緑色の部分）、舗装復旧工事（青色の部分）を予定しています。工事中は、通行制限などご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

下水道の供用開始区域は、町ホームページ（次のQRコード）を確認してください。

問 上下水道課下水道工務係

☎ 985-4231



下水道が整備された区域の皆さんへ 下水道の利用を始める前に

新たに下水道が整備された土地やその土地にある建物の所有者が、「公共下水道の受益者」となります。

●受益者になったら

「受益者負担金」を支払う必要があります。本年度新たに受益者となった人には、7月中旬に「下水道事業受益者申告書」を郵送します。内容を確認し、返送してください。手続き完了後、土地の面積に応じて負担金の額を決定し、8月中旬に納付書を郵送します。

※ 負担金は、1㎡当たり350円で、1筆当たりの上限は15万円です。一括納付の場合、割引制度があります。

●下水道が使用できる状態になったら

雨水以外の排水は、速やかに下水道に接続する必要があります。浄化槽を設置している人は6カ月以内に下水道に接続し、汲み取り式のトイレの人は3年以内に水洗トイレに改造しましょう。

●家庭の排水を下水道に接続する工事を行うときは

町の指定工事店に申し込んでください。工事店の一覧は町ホームページに掲載しています。下水道整備後3年以内に行う接続工事は、工事費の融資を金融機関にあっせんし、町が利子を負担する制度があります。

問 上下水道課業務係 ☎ 985-4126



●エアコン

- ☐ 温度設定は 28℃を目安にする
- ☐ 扇風機を併用して空気を循環させる
- ☐ すだれ、よしずや緑のカーテンなどで日差しを和らげる
- ☐ 室外機の周りには物を置かず、フィルターを小まめに掃除する
- ☐ 電源のオン・オフを繰り返さない
- ※ 家の中での熱中症に注意して、無理のない範囲で

地球温暖化防止のために 夏の省エネに取り組もう

地球温暖化を防止するためには、
一人一人の取り組みが大切です。
省エネは、CO2の削減や電気代の節約になります。
できることから取り組んで、地球と家計に
優しい生活を送りましょう。

町民課生活環境係 ☎ 985-4117



●照明

- ☐ 不要な照明を消す
- ☐ 消費電力が大きい白熱電球は、電球形蛍光灯やLED電球に交換する



●冷蔵庫

- ☐ 温度設定を「強」から「中」にする(食品の傷みに注意)
- ☐ 食品は詰め過ぎず、隙間を空けて冷えやすくする
- ☐ 扉の開閉を減らし、温度上昇を防ぐ



●テレビ

- ☐ 画面設定は「省エネモード」に、画面の輝度は低くする
- ☐ 必要なとき以外は消す



涼しい場所に集合! クールシェア

クールシェアとは、1人1台のエアコン使用をやめ、
家庭や地域の涼しい場所をみんなでシェア(共有)する
こと。楽しみながら地球温暖化防止や節電に取り組
むことができます。

涼しい場所を見つけて、みんなで楽しく過ごしましょう。

●おうちで

一部屋に集まっ
て、1台のエア
コンで家族み
んなで過ごす

●公共施設で

図書館、公民館
など涼しい場所
でのんびり過ごす

●商業施設で

ショッピングセ
ンター、映画館、飲
食店などで楽しく
過ごす

★不法投棄の通報が多い場所



町内の河川などへの不法投棄が統
発されています。ごみの不法投棄は犯
罪です。5年以下の懲役刑や1千万
円(法人は3億円)以下の罰金刑と
なる場合があります。
自然環境を守るためにも不法投棄
をやめ、ルールを守ってごみを出し
ましょう。

町民課生活環境係
☎ 985-4117



捨てること見られてますよ
不法投棄は犯罪です

人体に影響も? 海洋プラスチックごみ

海岸や海底にたまったり、海面や海中を漂っ
たりしている海洋ごみ。その多くは、陸地での不法
投棄などにより発生したごみで、河川などを通じ
て海へ流出しています。

●海洋プラスチックごみの問題

海洋ごみの中で、最も多いのはプラスチック製の
ごみ。海洋プラスチックごみは、自然に分解される
ことはないため、海に蓄積され、海洋環境や生態
系に大きな影響を与えています。

特に、歯磨き粉などに含まれるプラスチック製のビ
ーズや、プラスチックごみが紫外線や波によって5mm
以下まで細くなったものは「マイクロプラスチック」

と呼ばれ、有害化学物質を吸着する性質があるとい
われています。有害化学物質を含んだマイクロプラ
スチックを魚が食べ、その魚を人間が食
べることによって人体にも影響があるの
ではないかと懸念されています。

●できることから始めましょう

- ①ポイ捨て・不法投棄はしない
家庭ごみの不法投棄はもちろん、ポイ捨てをせず、
外で発生したごみは持ち帰る。
- ②プラスチックごみの発生を抑える
マイバック、マイボトルやマイ箸を利用する。必要
なものを必要な量だけ買う。

